

マーケター必見！

外注に頼らない動画制作を実現する  
メリットと手法を徹底解説

初心者で月 80本の動画を制作した実例を徹底解説

AI 特許取得



※日本マーケティングリサーチ機構調べ（2019年11月期）



# はじめに

ついに5Gサービスがスタートした日本。動画市場はこれから更に加速していく見込みです。質の高い動画を定期的に作り続けることが大きな課題になるでしょう。

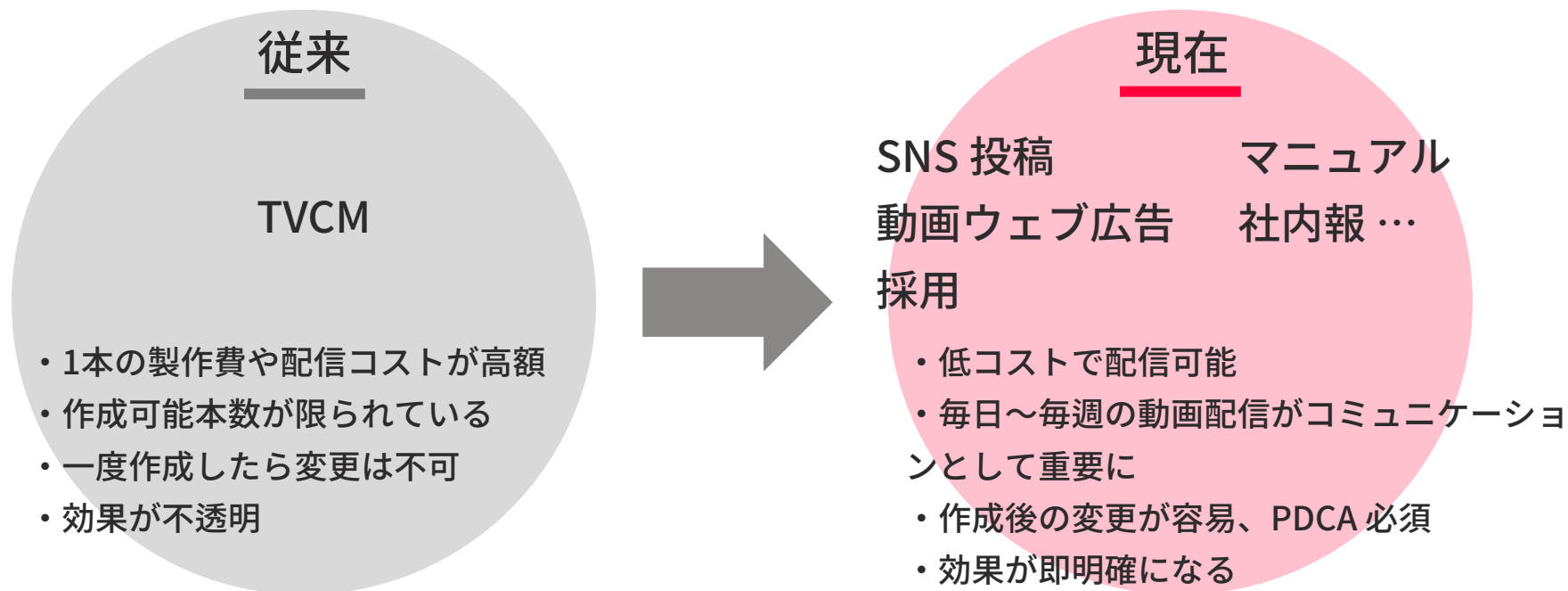
数年前の「動画制作」といえば、高い専門スキルと経験が必要でした。ですが知識や経験がないと1つの動画を制作するだけでも一苦勞。けれど、ポイントさえ押さえておけば初心者でもカンタンに動画制作が可能です。

ここでは、押さえるべき3つのポイントをご紹介します。外注費をかけずに宣伝や広告に使える動画制作、始めませんか？





# なぜ多くの企業が自社で動画編集をはじめているのか



動画がコミュニケーションの主体になり、  
企業の動画活用が大きく変化。

高額で変更できない TVCM から、大量生産が必要なウェブ中心へ。



# 外注に頼らない自社動画編集のメリット

## ① PDCA をまわしながら**最適解**を探ることができる

結果がすぐに明らかになり、かつ変更を容易に行えるウェブ動画のメリットは、PDCA をまわしながら効果を最大化できることです。社内で動画を作成すれば、思いついた訴求や A/B テストをすぐに反映させることが可能です。

## ② **低コスト**で大量に制作できる

ウェブ動画は、TVCM などよりも多くの量を作成する必要があります。毎週1本以上の作成が望ましいですが、その場合、1本20万円ほどのコストをかけることはできません。社内で制作をすれば、外注費をかけることなく、動画の制作や変更を行うことが可能です。

## ③ **適切な時期**に配信できる

新商品が定期的に出る場合、イベントの集客を動画広告で行う場合など、適切な時期に最適な動画を配信する必要があります。社内で制作すれば、適切なタイミングを調節できるだけでなく、商品の売れ行きや集客状況などに応じた動画を即配信することも可能です。

これだけおさえる！  
動画制作で重要な  
3つのポイント

1

勝負は最初の1秒

2

配信先に合わせた動画制作

3

トンマナを意識する

# 勝負は最初の1秒

1

## 短い秒数が基本

動画広告であれば、10秒から15秒の動画が基本です。SNSへの投稿も、数分程度が大半を占めています。Facebookをはじめとした広告媒体も、15秒前後を推奨しています。

※ Twitter は2分20秒までの動画しかアップロードできません。

2

## 名前・メッセージは最初に

TVCMとは違い、ウェブ動画はほとんどが最後まで再生されません。冒頭シーンから、一番伝えたい商品名や社名、ロゴを表示しておくことで、ブランド想起などが向上します。

「最後まで再生されない」ことを念頭に、伝えたいメッセージは冒頭に持ってくるのが重要です。

3

## 1.7秒で惹きつける

スマートフォンでは、1画面が平均1.7秒でスクロールされています。スクロールする手を止めるため、素早いカットを大きく変化させたり、1秒単位の素早いシーン展開を最初にを行うことが有効です。1.7秒で惹きつけ、最初の3秒を視聴してもらえれば、そのうちの65%が10秒以上再生することが分かっています。



参照：<https://www.facebook.com/business/news/JA-video-ads-update#>  
<https://xtrend.nikkei.com/info/09/00019/>

# 配信先に合わせた動画制作

1

## SNSごとに動画サイズを変える

動画をみたユーザーの興味関心を高めるために、アスペクト比に気を遣うことも大切です。各配信面に合わせたアスペクト比にすることで、動画を画面いっぱいに表示することが可能です。YouTubeは16:9、Instagramでは1:1、Tik Tokは9:16など、最適なアスペクト比で動画制作をしましょう。

2

## 動画に適したBGMを利用する

You Tubeの動画は、スピーカーもしくはイヤホンを利用して視聴する傾向があります。BGMは聴いてもらうことを想定してつけておきましょう。テンポの速い動画には明るい楽曲を、じっくり見せる動画にはスローテンポな曲など、動画とマッチするBGMをストックしておくことが大切です。

3

## 5秒以降は見られないことを想定して

広告動画の場合、「広告スキップ」機能があるため、最初の5秒以降は見られない可能性が高いです。そのため、伝えたいことや結論など、動画の核となるものは最初の5秒以内に提示することを意識した制作を行うことが重要です。



# トーン&マナーを意識する

1

## 色味を揃える

動画内で紹介しているコンテンツに興味を持ったユーザーが遷移先にアクセスしたとき、動画の世界観とLPの世界観が違った際に違和感を覚えてしまわないよう、遷移先と動画の色味を揃えていくことを意識しましょう。

2

## フォントひとつで変わるイメージ

ゴシック体や明朝体など、フォントは多種多様です。フォントひとつで印象は変化していきます。伝えたいことやターゲットに合わせたフォントを選ぶことで、内容がより印象的に、伝わりやすくなります。

3

## 細部にもこだわりを

ブランドイメージや訴求したい内容に沿った動画を作ることで、離脱率も変化していくことでしょう。アニメーションやトランジション、テンポ感などの細部にもこだわりを持って動画制作を行いましょう。また、自動再生されない場合を考え、サムネイルを工夫することも重要です。







北陸3県で不動産サービスを提供する「株式会社さくらホーム」。動画制作経験がほとんどない担当者が1人で月80本もの制作を実現しました。

# 未経験でも月80本の動画制作を実現

## 営業の撮影した写真を動画化

さくらホーム社では機材の投資や撮影の勉強、外注などをせず、社内の営業担当が撮影した写真を使って動画を制作。

動画編集ツールの導入以外にはコストをかけず、学習にかかる時間も最低限に抑えています。

## 物件の魅力を一番知っている人間が作る

動画を作るのは第三者ではなく、その物件の魅力を一番知っているさくらホームの社員です。

魅力を知っている社内の人間が作るからこそ、煩雑な修正依頼や、「ここはこうじゃなかった」などの意思の疎通ミスなどは避け、効率的に動画を作ることができます。

## 広がる活用用途

当初は「自社 HP の掲載」だけを検討していたさくらホームですが、動画を量産してから、Youtube への掲載や LINE への投稿、ポータルサイトへの掲載など動画を活用する場を広げています。

カンタンに沢山の動画を作ることができれば、当初は想定していなかった活用方法から、今までリーチできていなかったユーザへ動画を届けることができます。

# さくらホームの量産体制を支える、動画編集クラウド VIDEO BRAIN

実際に今までのことを踏まえ、動画制作を行う際に、Adobeなどの編集ツールを利用する方が多いかもしれませんが、ですが、専門的な言葉や機能など、覚えることも多く「いざ編集したいと思ってもできない」という人も少なくはないはず。難しい技術がなくても、動画制作を実現させるAI動画編集ツールが「VIDEO BRAIN」になります。

## 動画サイズの調整はワンクリックで

VIDEO BRAINではワンクリックで必要な動画のサイズを変更できます。（16：9、9：16、1：1）素材のサイズが異なっても、自動で調整を行うので、編集時間を大幅に削減できます。

## 70曲ものフリー音源

VIDEO BRAIN内にはおよそ70曲ものフリー音源が搭載されています。もちろん商用利用も可能。動画の雰囲気合った音源が簡単に見つかります。

## 豊富なアニメーション

ワンクリックでアニメーションを設定できることがVIDEO BRAINの特徴でもあります。動画制作初心者でも印象的な動画を制作することができます。

## 選べるフォントは60種類以上

60種類以上あるフォントスタイルからイメージに合うものを自由に選択できます。文字の色や大きさも変更可能なので、ユーザーの目にとまる、凝ったテロップを入れることができます。

# VIDEOBRAIN

それは専門知識のいらない、まったく新しい動画編集。

マーケターや営業、メディア、編集者など、動画によるコミュニケーションを必要とする人たちを悩ませる動画編集にかかる「コスト」「時間」「スキル」。そんな、ビジネスにおける動画編集のあらゆる課題を、AIによる自動動画編集機能が解決します。

AI 特許取得

GOOD DESIGN  
AWARD 2019

マーケターが選ぶ  
AI動画編集ツール  
No.1

企業向け  
AI動画編集ツール  
No.1

※日本マーケティングリサーチ機構調べ（2019年11月期）



**“誰でも簡単”**は当たり前前に。**“編集”**はもっと自由に。  
常に進化するAI動画編集クラウドサービスです。

PRODUCT KEY MESSAGE



**3万通りの組合せ**

他ツールにはない、細かい編集領域。  
テロップの編集からシーンのトランジション  
まで編集の組み合わせは3万通り以上。  
多彩な編集領域で競合を突き放すPDCA実行



**AIサポート機能搭載**

独自のAI技術を用いて動画編集を行い  
人が手を動かさずとも、絵コンテの生成  
までAIがサポート。だからこそ実現できる  
誰でもカンタン動画編集



**2stepの動画制作**

こだわり抜いたUIUXで誰でもカンタン  
に編集作業が行えるよう設計。  
普段業務が忙しいビジネスマンでも隙間時間  
で動画施策の展開が可能に。



**独自機能の搭載**

スピーチダイジェスト機能や素材販売機能。  
リアルタイムプレビューなど競合のツールに  
はない機能が多く搭載。圧倒的なテクノロ  
ジーで競合との差別化を実現。



## 動画完成までの流れ

やっていただく主な作業は「**文章**」と「**素材**」の入稿のみ。

入稿データをAIが分析し、動画を提案。お客様は確認と調整するだけで動画が完成します。



広告

メディア・ニュース

EC

CSR

採用

マニュアル

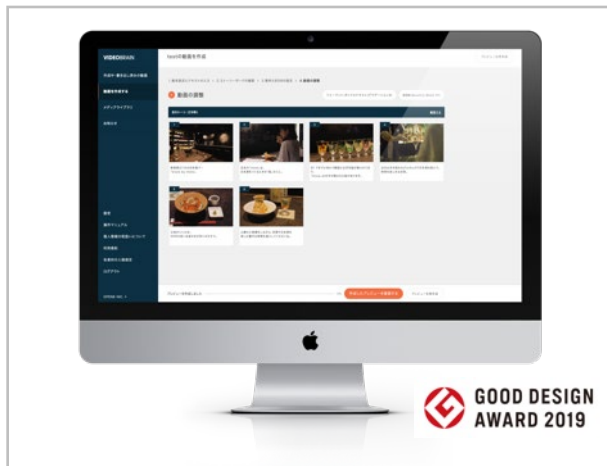
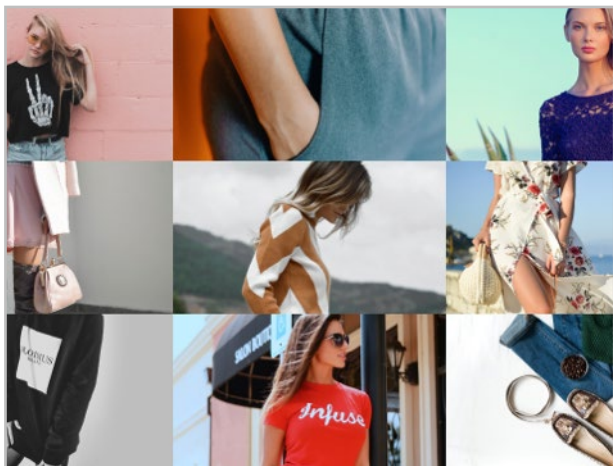
様々な業界の企業様にご導入を頂き、既に動画制作を自社実装している状態です。

※広告・マニュアル・広報・サイト内コンテンツ etc



※ 2020年3月実績

## VIDEO BRAINが選ばれる理由



### プロクオリティ

- ・モリサワフォント67種類
- ・デザイン3万通りの組合せ
- ・分割レイアウト設計も可能
- ・シーン数の自由設定
- ・クロップ、トリミング機能

### 誰でも簡単なUIUX

- ・パワポのようなUIUXで楽々
- ・AIサポートで未経験でも簡単

### 独自機能

- ・インタビューダイジェスト
- ・素材販売(アマナ/ピクスタ)
- ・リアルタイムプレビュー
- ・共有URL機能

### 万全のサポート体制

- ・専任の担当が伴奏を徹底
- ・成功事例のご共有
- ・ユーザー会の開催
- ・サポートチャットの開設
- ・定例のお打合せを実施



# OPEN8



高松 雄康

代表取締役社長 兼 CEO



石橋 尚武

執行役員 兼 CTO

- 1996 株式会社博報堂入社
- 2005 株式会社アイスタイル入社 取締役就任
- 2010 株式会社アイスタイル 取締役CMO就任
- 2012 株式会社アイスタイル 取締役COO就任  
株式会社コスメ・コム 代表取締役就任  
株式会社コスメネクスト 代表取締役就任  
iStyle Global (Singapore) Pte.Limited. 代表取締役就任
- 2015 株式会社オープンエイト創業  
代表取締役兼CEO
- 2010 東京大学卒業後、同大学院中退。
- 2013 THE CLIPを創業
- 2016 オープンエイトのCTOとして参画
- 2017 技術統括として東京とシンガポールの2拠点を束ね、  
OPEN8 CORE TECHNOLOGY開発の中枢を担う

## 会社概要

Company overview

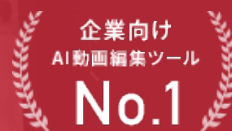
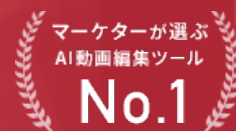
社名： オープンエイト (OPEN8 Inc.)

代表者： 高松 雄康

設立： 2015年 4月 10日

従業員： 74名 (2019年12月現在)

事業内容： SaaS事業 メディア事業 広告事業

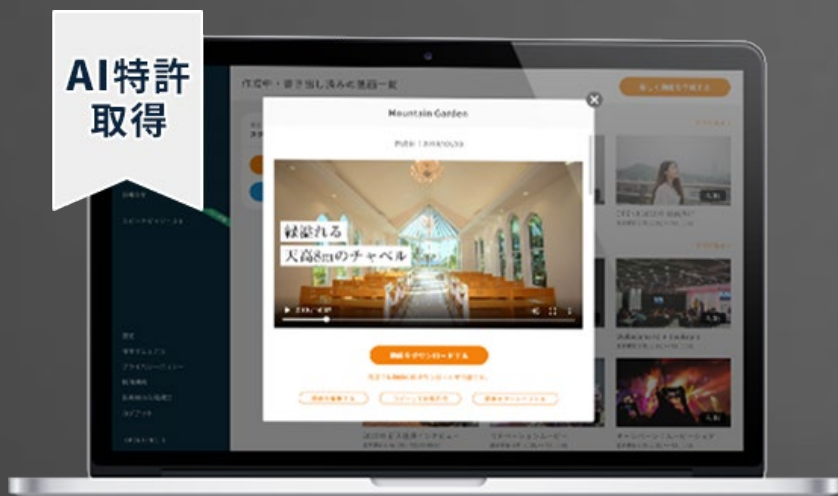


タクシーCM  
放映中!

調査企画：日本マーケティングリサーチ機構  
調査概要：2019年11月

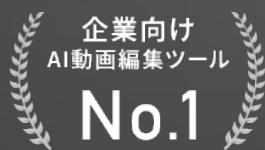
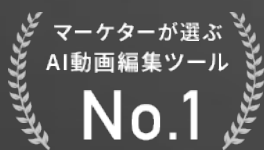
ビデオブレイン!!

# VIDEOBRAIN



AIがサポートする  
まったく新しい動画編集。

AIによる自動動画編集機能で、  
コストを掛けず高クオリティの動画  
制作を実現する動画編集ツール。



※日本マーケティングリサーチ調べ調査概要:2019年11月期

お問い合わせはこちら  
<https://video-b.com/contact/>